

第2回議会報告会質疑応答記録（概要）

平成24年4月25日(水) 午後7時～ 片丘（片丘支所）

委員会報告

Q 市民

- ・有害鳥獣の奨励金制度について、松本市までは、柵があるが、南内田に来てしまう。鹿だけで、600頭いる。農業試験場は囲ってしまったので、いよいよ畑に下ってくる。頭数が増えて、駆除が簡単にできない。

A 永田議長

- ・狩猟する人を2人から4人へ増やすように体制を拡充した。連絡を受けると、すぐに駆除へ出向くようになっている。
朝日や松本のようにネットを張っていくのがいいですが、コストがかかる。議会でも要望している。市側としては、固体調整で対応したいという見解である。そこで、補助金を出すような対応策をすすめていく。県内でも補助金制度で効果が出ているところがあるので、今年はどの程度効果があるのかについてみたいと思っている。サルについては、50から60頭捕獲しているので、そういった意味で様子を見たい。

Q 市民

- 1 渋沢団地について、移転の時期はいつなのか。
- 2 渋沢団地の工事について、擁壁^{ようへき}で囲っているが、夜歩いてみると歩道が真っ暗で、視界が悪いので、現地調査の上で、街灯をつけるなどの対策を。
- 3 片丘地区の3つの道路南熊井の坂野酒店から塩尻方面へ向けて道路が狭い。議会としてどのように考えているのか。

A 青木議員

- 1 渋沢団地は36戸、市、県では36戸、来年3月完成する。4月1日入居予定。県が地盤が悪くて、工事が遅れ、9月くらいになる予定。

A 永田議長

- 2 擁壁^{ようへき}については、担当課に伝え対応するようにしたい。

A 永田議長

- 3 全体の意見交換会でお答えさせていただきたい。

Q 市民

- ・通学路の件ですが、県道の通学路の確保に協力していただきたい。

A 丸山議員

- ・議会とともに協力していきたい。

意見交換会

Q 市民

先ほど（通学路）の質問

A 青木議員

- ・安全確保についてなんども話し合いを重ねているが、結論に至らない。村を分断するわけに行かない。田川沿いにバイパスを伸ばすという案もあったが、狭い部落なので、二本は難しい。大型を通行禁止にしない案もある。グリーンベルトを塗るなどの対策もあるが、すぐさま解決する策はない。他の対策をしていかなければならない。努力をしてまいります。

Q 市民

- ・片丘地区全体を見ると、もしくは市全体を見ても少子高齢化の状況になっている。長い間、土地政策によって少子化が進んできたが、議会として各種の計画についての長期的なビジョンや議論の内容はどのようになっているのか。

A 永田議長

- ・結論から申し上げますと、人口減ということでシミュレーションが始まっている。長寿社会になっているので、いつまでも元気でいられる体制をつくっていく。介護が必要な施設を整備し、県内でも多いほうである。当然介護保険が上がるというデメリットもあるが、まずは最優先に考えていきたい。
- ・産科がないということであるが、現在専門の嘱託職員を採用して、桔梗ヶ原病院と連携しながら、産科の招聘をおこなっていく。

Q 市民

- ・大門の街を見ると、高齢化してしまって、夜行くと静か、もう少しまい手を発想してほしい。

A 青柳議員

- ・議会は、長期的なことを考える機会がない、塩尻市は第4次の後期計画を策定している。今の時代変化は早い。経済が下り坂、財政需要は増えるのに、税収は少なくなっていく。いろいろな努力はしている。しっかりみんなで議論をしていこう、議会も行政任せだけではなく、議会報告会などをおこなって議会としても政策立案能力をつけていきたい。大門の話はおっしゃるとおりで、実はね、いろいろな考え方があるんだけど、市街地だけよくすれば人が集まってくるとは限らない。都会から今にか人が逃げ出す、その受け皿としてこういった自然豊かな場所、それを用意していくことが大切。中心市街地だけで物事をやってもうまくいくわけではない。

Q 市民

SBC ラジオで塩尻市のコマーシャル番組をやっている。10何年。

- 1 なぜ税金でコマーシャルをながしているのか。
- 2 内容が10何年同じ、四季を通じて変わっていればいいのだが。
冬に、「高ボッチに花が咲きほこり」税金でおこなうのは結構だが、もうすこしなんとかならないか。

A 永田議長

- ・わからない部分もあるが、市ではない。松本広域でおこなっている。そういった状況で

あれば、是非今後、改善をするよう働きかけたい。

Q 市民

- ・片丘小学校の空き教室を利用して児童館の設置、現在の推進状況。
- ・過去のこちらからの要望はどうなっているのか。

A 森川議員

- ・今年度の予算で、片丘児童館を整備することとなっている。1700万円の予算計上され議決されている。丸山議員も一般質問などでとりあげている。

A 丸山議員

- ・統合した保育園を児童館で使うケースが多かったが、片丘の場合、南部保育園が遠いので、全国の中で3分の1くらいが空き教室に児童館を設置している。夏休みに工事をして児童館と児童クラブを合わせた施設とする。地元と協力をしながら、進めていく。
- ・トイレの問題については、支障がないように配慮するような工事をおこなう予定。教育委員会のほうで、地域の皆さんにご協力いただける方の公募チラシを作成して、そういった方々と運営していく。

Q 市民

- ・片丘の児童館の設置について方向性が決まったら、報告をしていただきたい。

A 丸山議員

- ・計画が決まり次第説明をするように要請します。

Q 市民

- ・資料の8Pに関して、介護予防教室の開催について、お仕着せの介護予防教室を開いていただいてもあまり参加意欲が高まらない。個人経営のジムが塩尻にある。そういったところの1月の会費が高い。そういうところの会員になる補助金を出してほしい。奈良井荘にも補助金が出ていた。健康に関してもお仕着せではなく、そういう方向も考えてほしい。

A 森川議員

- ・貴重なご意見をいただいた。介護保険も値上がりをしている。行政もいつまでも元気で、施設にお世話にならないようにしたい。議会としても練って行政へ伝えたい。

Q 市民

- ・片丘小学校の照明器具が暗くて見えない。改善を。
- ・片丘は東西の道が多いので、道に砂利が出てきてしまう。4メートルすぎないとだめだという基準だが、なんとかならないか。

A 丸山議員

- ・向きを変えた経緯もある。他と比べられないが一番暗いのではないか。また対策を考えていきたい。

A 青木議員

- ・畑にU字溝がないところもある、申し入れはしているが、お金が大変かかるということで。大まかなところは国県の補助をもらって、そういうところは直していきたい。

Q 市民

- ・えんパークについて、3階の音楽室を使うと、音漏れがひどい。もう少し防音するようにはできないか。

A 丸山議員

- ・若い世代からの要望で音楽室を作りました。バンドの練習で音が漏れまして、予定外だったのですが、防音については今後担当者に伝えたい。